

令和5年度第4回美波町総合計画審議会 議事概要

日時：令和5年2月28日（火）19時00分～

場所：美波町役場2階会議室

出席者：

（美波町関係者）

岸本政策推進課長、福岡政策推進主査

（美波町委員15名）欠席1名

床桜委員（会長）、遊亀委員、小原委員、片山委員、浜口委員、豊崎委員、尾崎委員、
吉田委員、奥村委員、丸西委員、酒井委員、川口委員、向山委員、春田委員、山崎委員
網干委員、岡本委員

（支援業者 ジャパン総研2名）

会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 第3次美波町総合計画の策定について
 - (2) その他
- 4 閉会

会議資料一覧

- ・美波町総合計画会議資料

会議経過

- 1 開会后、会長挨拶。
- 2 事務局・ジャパン総研より説明
- 4 床桜会長が委員長として会議を進めた。
- 5 議事（1）について、事務局が資料に基づき説明を行った。
- 6 閉会

主な質疑等、議事の概要は以下の通り。

◆議事（1） 第3次美波町総合計画の策定について資料に基づき、事務局及びジャパン総研が説明。

【委員】

目次について、「基本構想」・「基本計画」は序論と同じように記載し他方が良いと思う。
また、わかりづらいカナ表記に関しては注釈を入れるようにしてもらいたい。

【委員】

フェーズフリーについては、県からも積極的に取り組んでいくことが求められているので、リーディングプロジェクトのページ内において下の方ではなく、もう少し頭に持ってきてはどうかと思う。

【委員】

36P「雇用対策の充実」の現状課題について。

「地元雇用」という言葉に関しては、生え抜きというイメージで捉えていいのか？

→事務局)

美波町出身や美波町に住民票がある方を想定して記載しています。

【委員】

移住できた人よりも生え抜きの方が、価値が高いという意味ですか？

地元雇用は少ないという記載になっているが、雇用の誘致が見込める企業が来たからどうなのかなと思う。

実際サテライトオフィスで進出してきた企業の社長さんに話を聞くと雇いたいけど人材がないという声もあり、この書きぶりだと現状との乖離があるような気がする。

また、同じくサテライトオフィスの関連で、1P に関してはあえて「UR」という固有名詞を入れているが、意図があればいいが意図が無ければ書かれていない会社からするとどう思うかなと感じる。

→事務局)

36P の現状課題について、生え抜きの価値が高いという意味で記載しているわけではありません。該当箇所は前回の会議では記載していたものではなく、会議後各課に課題の洗い出しを行ったのちに出てきたものなので、書きぶりに関しては再度調整します。

→ジャパン総研)

1P の「UR」について意図はなく、ご指摘通りの懸念も想定されるので、書きぶりに関しては変更します。

【委員】

計画書の基本計画に英語が入っており、読みにくい気がするがどうか。

また、発展的なまちづくりを行うためには、若者が住めるようなまちじゃないといけないと思うが、計画書を読んでも働く場所など住んでもらうための礎となる形があまり見えてこない気がする。書きぶりとして「施策を進めます」というのはあるが、実現に向けた現実的な政策がもう少し必要なのではないかと感じる。

→ジャパン総研)

英語については本編とは関係はなく、装飾のデザインの部分になります。また施策や政策については、前回の会議後に各課に再度ヒアリングし、今回具体的な取り組みとして絞り出したものが今回の4つのリーディングプロジェクトとなります。

片山委員の指摘の通り、政策として不十分な部分もあるかとは思いますが、今回の総合計画内の書きぶりはここが落としどころになりそうです。

→事務局)

具体的な施策に関しては各個別計画でしっかり記載していけばと思います。

【委員】

人口減少に関しては、人口を増やしていくための方法として「流用させない」・「人を呼んでくる」・「出生率を上げる」の3つしかないと思う。しかし、今回の総合計画においては、美波町としてこの3つの中でどれが重要なのが伝わってこないという部分が片山委員の感じる懸念にもつながっているところかなと思う。総合計画はまちの全体に関して網羅的に記載するものと理解はしているが、もう少しぐっと踏み込んでほしい気持ちもある。

【委員】

細かい部分ではあるが、誤字脱字に関して気になった部分だと、3P の文字ミスと 36P に挿入している写真については 91P にも使用されているので、どちらか変えた方がいいと思う。また、79P 句読点ミスの修正と 90P の言い回しについては、再度検討頂きたい。

その他、各施策の目標値に関する見直しの指標については記載があった方が良いと思う。

→事務局)

誤字は修正します。写真に関しては仮で入れており、最終的には重複なく整えます。

→ジャパン総研)

計画の見直しの指標については PDCA サイクルを使用するので、計画書内に説明ページを追加します。

【委員】

コロナ過で色々と狂った部分もある。人口も増やしていかないといけないが、徐々に取り組んでいかないといけないと思う。

【委員】

計画書には関係ないですが、本計画の完成品はカラーで出しますか？

→ジャパン総研) カラーで印刷するので最終的には見やすくなります。

【委員】

計画としては間口が広めになっており、大きくはまとまっていると感じる。

【委員】

先程意見にもあったようにもっと具体的に踏み込んでいければと思うが、総合計画としてはある程度まとまっていると感じる。

【委員】

計画書内に記載している課題は数多くあり、まちづくりを推進していく上では色々なことに取り組みないといけないと思う。

【委員】

計画の内容について見直しができるかどうかが大変なので、計画書の中に計画の進捗状況に関しては見直しを行いますという記載が必要だと思う。

また、計画の進捗にあたっては地域の住民と対話しながら進めるという部分が根底にあると思うので、その点についても計画書内で言及した方が良いかと思う。

【委員】

計画書内の文章について、「検討している」という表現が多く出てきているので、何を検討しているか検討しているものの内容をしっかり追記してほしい。

【委員】

P95のタイトルは「推進」ではなく「改革」にしてはどうか。

→ジャパン総研) 変更します。

【委員】

P14のSWOT分析の内容については再度精査した方がいいと感じる。

→ジャパン総研・床桜会長)

リーディングプロジェクトの内容を踏まえて再度精査します。

【委員】

リーディングプロジェクトのデュアルスクールについて。

今回の総合計画の内容と少しずれるが聞いてほしい事として、去年はデュアルスクールの申し込みが本町にたくさん来た。そのこと自体は町として非常に良いことだが、現実としてはひきこもりや不登校などの問題を抱えている親子からの応募が多い。

それも申し込みの際に分からず、正式に通うことになったのちに発覚するケースが多々あり、現場でも対応に苦慮しているという話もある。

少子化は進んでいるのに、不登校は増えているというこのような社会の実情を踏まえながら、今後デュアルスクールを推進していく上で、課題を抱えた親子を本町はどういうスタンスで迎え入れるのか、一つ大きなテーマだと感じる。

【その他】

・第5回審議会は3月27日もしくは28日に開催予定